



【秋田県版】
No. 394
2024年4月15日

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

発行人：田中 幹夫
〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4

秋田県本部

〒014-1413
秋田県大仙市角間川町
宇東中上町27
最上健造 方

TEL&FAX
0187-65-2115

同盟運動の目的

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 1、国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
 - 2、国は、治安維持法犠牲者に謝罪し、賠償を行うこと
 - 3、国は、治安維持法による犠牲者の実態を調査し、その内容を公表すること

4月から6月まで

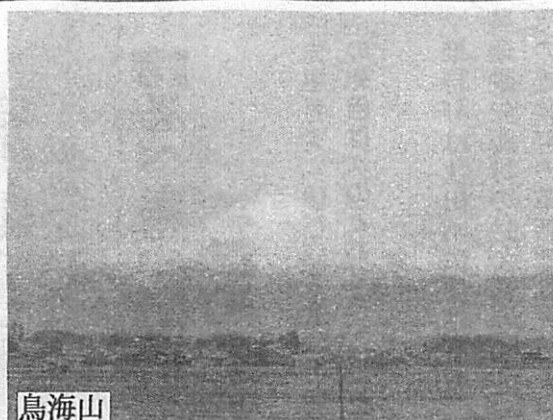
「署名・会員拡大目標達成特別期間」はじまる

国会請願 5月15日

全国大会 6月19、20日

秋田県大会 7月21日（日）

これらの成功めざし署名と仲間増やしに力をつくそう



鳥海山

会員拡大

3月は大館鹿角、秋田、大曲仙北の支部で5名の新会員を迎えました。いずれも民主団体などで交流のある女性のみなさんでした。対象の方に、率直に、真剣に呼びかければ、入会してくれる方はもつといます。支部の役員さんや、「ちから」のある会員を中心に目標達成に頑張りましょう。各支部の自主目標達成のため

署名運動

署名はかなり遅れています。各支部は自主目標達成のため全力を尽くしましょう。現状では、せっかく紹介議員になつてくれた国会議員にわずかな署名しか届けられません。少なくとも一国会議員500筆を届けるために「県同盟ニュースNo.10」（4・3発行）で提起された「20日までの目標」達成に頑張りましょう。

※昨年の紹介議員は、秋田一区・寺田学（立民）、二区・緑川貴士（立民）、参院議員・寺田しずか（無）、同・福島みずほ（社民）。高橋千鶴子（共）、岩淵とも（共）の議員のみなさんでした

第32回東北ブロック交流集会inみやぎ

★10月15日（火）、16日（水）

★仙台市秋保（あきう）温泉「リゾートホテルクレセント」

★参加費：1人12,000円



「不屈」再録シリーズ③⑥
県版「不屈」(2001年2月No.117より)

誇るべき労農運動さきがけの地 雄勝町の革新運動先駆者を偲ぶ

先駆者を「偲び語る会」でおこなった同盟県本部近江谷会長
の報告は次のとおりです。全文を紹介させていただきます

雄勝町は秋田県に於ける労農運動先駆けの地であります。その雄勝町の革新運動先駆者を偲ぶ墓参会に参加できたこ



とを、私は光榮に思い、心からの喜びとするものであります。

ご承知のように、我が国の鉱山労働運動の指導者になった永岡鶴蔵氏が院内鉱山で働き、六〇〇人の労働者を組織してストライキを断行したのが一八九三年でした。

永岡はストライキ指導と同時に、県内の鉱山をオルグして「日本鉱山同盟会」を結成し、鉱山労働者に対する「鉱夫税」撤廃の大闘争を起こし、秋田県議会に鉱夫税の撤廃を可決させました。その後永岡

は、全国にその名を轟かせ足尾争議の最後の指導者になります。

また、日本共産党の創立者片山潜から社会主義の影響をうけ、片山潜の活動に協力しますが、官憲の弾圧で、千葉刑務所で獄死しました。

《秋田県最初の日農加盟の組合》

一九一八年に米騒動が起き、その参加者は数百万にのぼりましたが、軍隊と衝突し、流血のすえ鎮圧されました。

しかし、この米騒動の後、小作争議が全国に広がり、一九二二年四月に農民の最初の全国組織として日本農民組合が創立されました。この動きに呼応し、いち早く農民組合を結成し、秋田県で最初の日農加盟組合をつくったのが、雄勝郡横堀町の農民たちでした。続いて日農の支援で、院

内農民組合が結成され、官憲の弾圧にも屈せず農民の要求を掲げ続けました

《治安維持法による弾圧》

一九二五年には治安維持法が制定され、日本国民全体を侵略戦争に動員するために、言論・結社・自由に対する厳しい抑圧が行われ、戦争に反対し、民主主義を唱える者は国賊・非国民として逮捕・投獄されました。

この雄勝町では、上院内荒町の中村良一が常任となり小作争議に参加し、また、共産青年同盟の地区責任者として活動中の一九三二年十一月十日、検挙され、懲役二年の実刑を受けました。出獄後、鶴沼勇四郎の遺稿集刊行を企画しますが、軍需工場に動員され、終戦の翌年に死亡しました。

横堀字大田中の佐藤維四郎は、新興教育同盟秋田支部準備会を結成、その責任者となり、機関紙の普及や反戦ビラを作成し、各学校への発送活動、さらに鶴沼勇四郎の農民組合運動に協力するなかで検挙され、投獄のうえ、教員は懲戒免職になりました。

小野村桑崎の高橋典三は庫山先生の影響をうけ、一九三一年プロレタリア作家同盟の会員となりましたが、翌年北海道に渡り労働組合を結成し、その責任者として活動中に検挙され、懲役二年の刑をうけました。

横堀の農民組合を指導した佐藤賢太郎は人民戦線事件で検挙され、一カ年投獄されています。

《革命的伝統を うけついで》

これらの人々は、戦後それ

ぞれの道を進んでいます。しかし、戦前の暗黒時代に、死刑・無期懲役に処するという弾圧のなかで不屈にたたかった日本共産党と、その黨員とともに活動した人々の思いは、戦後日本国憲法の戦争放棄、主権在民、基本的人権の原則のなかにしっかりと位置づけられました。

同時に、その革命的伝統は雄勝町の日本共産党組織に受けつがれて発展してきています。私は確信するものであります。

戦後の民主的高揚のなかで院内町では約六〇名の党細胞がつくられ、一九四七年四月の町会議員選挙で三名を当選させています。同時におこなわれた県会議員選挙では雄勝町に置き換えると七六一票を獲得し、庫山先生の当選に大きく貢献しました。米の強権供出反対、町の税制民主化なども闘い、多くの実績を残し

ていることはひろく知られているところです。その後、戦後の反動攻勢とレッドパージ、極左冒険主義などにより、党と革新運動は大きな困難に直面し、運動も後退を余儀なくされました。

しかし、雄勝町になって菅実さんに続いて沼倉昭二さんと複数議席となり、さらに六三年には三議席を確保しました。

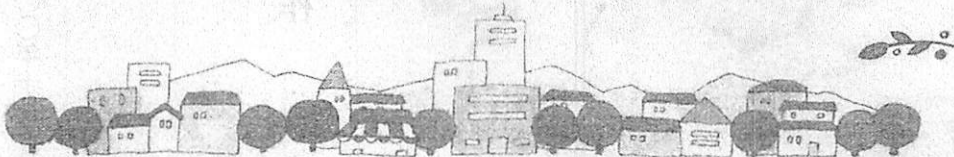
ま六三年に雄勝町では、農作業賃金の引き上げの闘いで一三〇余人の農村労働組合を結成したことが全国に紹介され、これが典型として、我が国の農村労働組合運動で先駆的役割を果たしました。

こうした先進的な活動は、秋田県の共産党組織と革新運動を大きく励ますものでした。

私は、雄勝町に於ける、日本共産党の不屈の歴史に深い敬意を表するとともに、一層の発展を願うものであります。

さて、戦後も半世紀が過ぎました。この五十余年にも様々な時期があり

ました。終戦直後の民主化闘争の飛躍的な前進、戦後の反動攻勢と革新運動の後退、安保反対の国民的大闘争、日本共産党の綱領決定と革新運動の高揚、戦後第二の反動攻勢と国政選挙での後退、自民党政治の危機の深化と日本共産党の前進など数え切れないほどの曲折を経ながら、日本共産党と革新勢力は、全体として大きく前進してき



ました。

《民主連合政府を 展望して》

戦後の黨員達は、この様々な時期に、それこそ本当に献身的に奮闘し、日本共産党と革新運動の歴史を刻んできました。既に故人となられ、私もともに活動したことのある菅実さん、中川貞治さんなどを偲びつつ、この半世紀の歴史を振り返るならば、今日は先輩たちが進歩と革命に尽くした活動の真価が、いよいよ輝きを増す時代に入ったと言えます。

日本共産党は先の総選挙で



卑劣で無法な反共謀略作戦の集中攻撃で後退しましたが、比例代表で六百七十一万、小選挙区で七百三十五万を獲得しました。地方議員は四千四百五十二人へと前進し、自民党を追い抜き

第一党となつていきます。

そしていま、

この力を基礎に二十一世紀に民主連合政府をつくることを展望し、

新たな決意で、革新・

民主の路線

を国民のものにするため

に奮闘しているから

であります。

私は、戦

前・戦後の

絵手紙

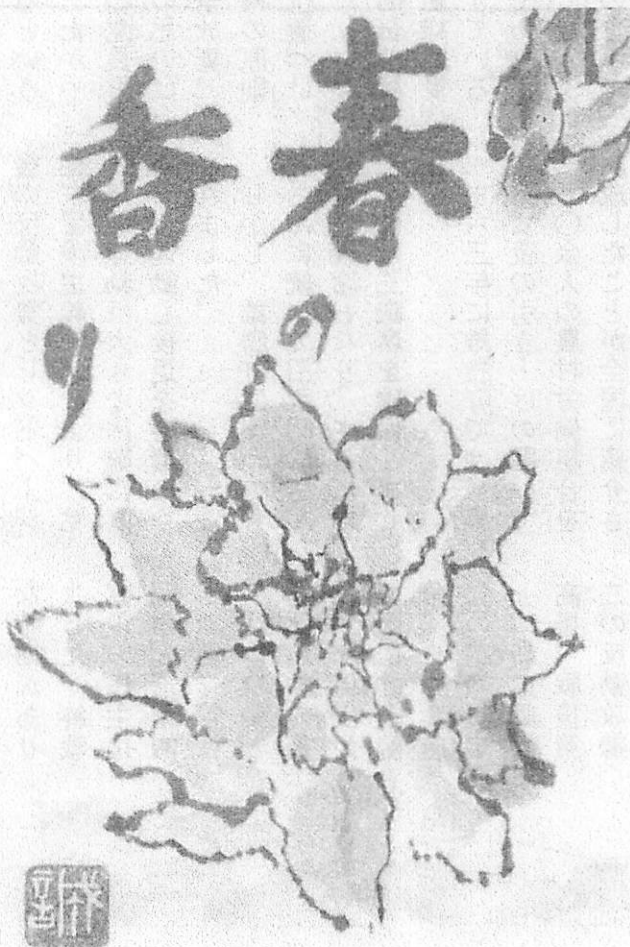
時期に、我が国の進歩と革命の事業に貢献した先駆者たちを偲び、その革命的伝統を受け継ぎ、先駆者たちが押し進めた歴史の流れを一層前進させ、花開くように奮闘するものであることを誓い、雄勝町

の先駆者を偲ぶ墓参会参加へのお礼の言葉と致します。有り難うございました。

(二〇〇〇年十月十日)

【大曲仙北支部】

堀川 誠子さん 作



学習資料17

靖国神社とは

【社会科学辞典】より

(1992年・新日本出版社)

◆前身は、明治維新前後の「官軍」の戦死者をまつる目的で1869年に東京・九段に建てられた東京招魂社。1879年、靖国神社と改称し別格官幣社となる。祭神は戦争の戦死者を軍部が天皇の裁可を得て決定し、侵略戦争の拡大につれて祭神数も増えるという特殊な構造を持つ。一般の神社が「内務省」の管理だったのに対し、当初から「内務・陸軍・海軍」の三省管理とされ、87年からは完全に「陸・海軍省」管理となる。神社財政は陸軍が握った。祭主には陸海軍武官が任命され、天皇の弔祭を宗教施設として、天皇への忠誠と軍国主義

義の精神的支柱の役割をはたした。

◆戦後、都知事認証の宗教法人となる(1952年)。

79年には、前年にA級戦犯を「昭和殉難者」として合祀していたことが発覚し、世論の批判をあびた。85年中曽根康弘首相および多数の閣僚は、靖国神社の「公式参拝」を強行し、アジア諸国をはじめ国際的に日本の軍国主義復活・強化への不安と危惧の念がひろがった。現在の合祀者数は246万余。

※なお現在も「閣僚」や国会議員の集団参拝、自衛隊の「公的参拝」など「憲法違反」的行為が続けられている。

【神社本庁編 靖国神社】より

(2012年・PHP)

◆「境内に佇む遊就館には戦没者の御遺書が数多く展示

されており、家族に宛てた手紙には自らの命を国家に捧げ、家族や親戚、また郷里や祖国の安寧を念じた殉国の精神を読み取ることができま。今日の平和の享受は祖国の礎(いしずえ)となられた戦没者によりもたらされていることを痛感いたすと共に、国民が戦没者の御心を心として感謝の真心を捧げられる社会の形成が急務と実感致しております」

◆「こんにち行われている鎮靈のお祭りは、日本人の平和を希求する心の普遍的なあらわれとして、見ることできるのではないだろうか」

◆靖国神社公式参拝の根拠
「戦死者の慰霊は、天皇陛下が国民とした約束です。国の義務であり権利です。春秋の例大祭には靖国神社に勅使が使わされています。周辺諸国に遠慮する必要などありません。国政を預かる総理大臣

が堂々と靖国神社に公式参拝して慰霊の誠を尽くしたとき、分断された歴史は連続を回復し、戦前の国民と戦後の国民との歴史的統合が果たされるのです。封印が解かれた裂け目からほとばしる民族の記憶と物語は、必ずや日本と日本人を再生させるものとなるはずです」

おくやみ

慎んで

ご冥福を祈ります

【大曲仙北支部】

佐藤 宏明さん 69歳

3月23日死去

佐藤さんは、支部事務局長、県常任理事でした。デザイナーとして選挙ポスターや宣伝物作成でも活躍されました。

◆久保山愛吉 (故人・1914～1954・米のビキニ環礁での水爆実験で死の灰を被爆し死亡した第五福竜丸無線長)

「とにかく私は平和を愛する」

(3・1「しんぶん赤旗」『潮流』より)

◆竹田ダニエル (米国出身・ライター)

「日本では、社会的発言をすることが特別視されすぎなんですよ」

(3・27「朝日新聞」・(鷺田清一『折々のことば』より)

◆猿田佐世 (新外交イニシアティブ・ND代表)

「台湾での戦争がおきる可能性はあります。日本の安全保障の命題は、台湾有事の回避なのです」。「みなさんが各々の持ち場で日々続けてお

られる人権活動こそが、世界の平和を推進する大きな一步になると思います。そのことをみなさまと共有して、明日からの活動を続けていけたらと思います」

(3・30「新婦人しんぶん」・「2024年国際女性デー」中央集会での講演」より)

今月の注目の言葉



◆みのり川信英 (秋田三区自民党衆院議員・自民党国対委員長代理)

「処分が出たとはいえ、党の立て直しと、政治とカネの問題再発防止に向けてしっかりと取り組まないといけない」。

「処分が出て追及が終わるということはないだろう。広くアンテナを張り、野党の意見にも耳を傾けて後半国会に臨む」

(4・5「秋田さきがけ」・「総合」より)

◆伊藤沙莉 (俳優・NHK朝ドラ「虎に翼」主演)

「私たちは法律で守られているが、そこに至るまでにこんなに大変な時代があり、戦った人たちがいるから今がある」「そういうことを知れたことは、私自身の人生において本当によかった」

(4・4「秋田さきがけ」・「芸能」より)



新会員紹介

入会を心から

歓迎します

【大館鹿角支部】

藤本 千鶴子 さん
浅野 洋子 さん

【秋田支部】

鈴木 サキ子 さん
佐藤 みどり さん

【大曲仙北支部】

石川 ふみ子 さん



治安維持法と現代

24 年春季号・国会議員請願活用号

—4月30日発行— 第47号

◆前川喜平・自民党の教育政策の功罪

—国家主義と新自由主義がもたらしたもの

◆緊急事態改憲論の問題点— 小澤隆一

◆経済安保秘密法案の危険な仕掛け 井原 雅

◆23 年請願賛同国会議員—半掲載

【今号の学習テーマ】

①自民党派閥の裏金事件

山本豊彦(「赤旗」日曜版編集長)

②「維新の会」をどう見るか—その実態、本質、そして未来 小松公生(日本共産党政策委員会)

③柳河瀬精氏の遺した仕事—『告発 戦後の特高官僚』に学ぶ 小松実(中央本部副会長)

いっしょ、話題の現場から ★

★「唯一の全国紙」掲げる読売新聞—政権支

える社論 その実相を探る 大手町 一

★沖縄の闘いの現場から 村山 純

★米軍横田基地のPFAS について 尾崎あや子

★五日市憲法の「千葉卓三郎記念碑」存続問題の現状 横田有史(宮城県同盟会長)

※ エッセイ ※

※『立春大吉』を語る 浅尾大輔

※福田村事件の発掘に思う 辻野弥生

※自著を語る『権力監視はどこへ—メディアと政治を考える+30』 藤沢忠明

《映画紹介コーナー》

※今井正、不朽の名作「小林多喜二」 上田精一

映画「警道」—上映運動にとり組んで 河野唯史

※『世界と日本の戦争博物館』

国立大韓民国臨時政府記念館(ソウル) 永島民男



飯島喜美恵彰研連立キックオフ集会 in 旭市・24.3.17

千葉県同盟・海匠支部共催 一週消費の82人集う

治安維持法下の闘いと抵抗の群像①

◎長野 2・4 事件と信濃教育会、満蒙
開拓青少年義勇軍—父の日記と「手
記」から考える 立沢和樹

◎近内金光と治安維持法 田中徹歩

◎ダダ・カンスケ(山本忠平)の
生涯と松田解子 江崎淳

研究報告 ◆

◆治安維持法下の東北のたたかい—その今
日の意義 土井洋彦(日本共産党学者・文化委)

◆「小〇の旗」を掲げて勝利した三閉伊—挨
170 周年 牛山靖夫(若手県同盟会長)

【同盟活動シリーズ】

《映画上映運動》

滋賀県・上映の輪で琵琶湖を繋いで 一古谷達代

兵庫県・但馬地方の「連続上映会」実践 一藤原文次

島根県・小さな県、小さな活動 一藤原文次

《女性部活動》岡山県・持続的活動支えて植井正樹

《支部結成報告》

千葉県・船橋・海匠支部 一小松 敦

愛知県・瀬戸支部 一若山晴史

石川県・奥能登支部—能登半島地震の中、全国の

激励に応えて会員拡大 一尾西洋子

山梨県・中巨摩支部 一戸田 康

山梨県・甲府北部支部 一石原靖子

北海道・稚子から江別支部へ 一歌代栄蔵

東京都本部10年の歩みと「支部活動の手引き」作成

国会議員地元事務所への事前要請活動に持参し

て旺盛な国会請願を成功させよう



俳句

九条と田園

能代山本支部 児玉金友

九条は世界平和の虹の橋
 九条が教科書まもり子らが笑む
 人住まぬ村とも知らず鳴く郭公かくこう
 青田植えリズムを壊す減反田
 減反の村にも初夏の風薫る
 減反を告発するや青田刈り
 畔刈れば稲スクと立ち風そよく
 盆おどり豊作ねがう指のさき
 菜園で顔より味という茄子なすび
 秋の田で波のりしてる赤トンボ

(2005年の『俳句人』より)



一冊800円、好評発売中!!

第32回全国女性交流会報告集

申し込みは各支部へ

編集後記

あまりにも毎日いろいろなことだ起こり、問題意識をもつて一日一日を過ごしていないと大事なことが置き去りにされてしまう。そんなことを思っ
 てしまう今日この頃だ▼何のこと?。数え上げればきりが
 ないが、今は自民党の「裏金事件」ではないだろうか。新聞も最近が高額となり「朝日」と「しんぶん赤旗」の2紙しか購読していないが果たして、各紙はどのようにとらえているのか、興味を持っていたところ、ちょうど「しんぶん赤旗」4月6日号で各紙の社説
 を紹介していた▼やはり、この新聞も真相解明ぬきの処分を批判していた。「真相に迫るには、偽証罪が適用される証人喚問が必要だ」(「毎日」)。「うその証言をしたら偽証罪に問われる証人喚問も検討してはどうか」(「日経」)や、森喜朗元首相らの国会招致。「岸田首相が目指した『政治的なけじめにはない』」などなど▼自民党はこれで幕引きするつもりだろうが、国民はそれほどあまくはない。この「つけ」は選挙で結果を突きつけようではないか。

(相川)

